

霧ヶ峰山行報告

【山行日】2024年9月4日(水) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 4,200円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:大西、
大塚、神田、関、福島

【コースタイム】岩舟支所 P6:00=八島湿原

P8:55/9:15~物見岩 10:10/10:15~蝶々深山

10:55/11:05~車山乗越;11:20~車山山頂

11:40/12:20~車山の肩 12:50/13:00~

八島湿原入口 13:50/14:00~八島湿原P

14:35/14:50=道の駅「ヘルシーテラス佐久南 15:55/16:10=岩舟支所 17:55

9/1(日)に計画したが雨の為中止を余儀なくされた。4日(水)は天気が良さそうなので、代替山行として再募集し6名での山行となった。岩舟支所を6:00に出発し、北関東道から上信越道、中部横



断自動車道を進み、佐久南ICで降りて国道142号線を進む。ところが通勤時間帯の渋滞に巻き込まれ、ノロノロ運転が続く。

新望月トンネルの先から県道152号線に入り、白樺湖からビーナスラインを經由し八島湿原駐車場に着く。出発の準備を整えたらトイレとストレッチを済ませ、体験山行者が居るので自己紹介を行ってから出発する。

道路の下をトンネルで抜けると八島園地に出て、ここから木の坂道を下って湿原に出る。ここからは湿原の周りを木道で歩くようにな

り、八島ヶ池や男女倉山等の稜線を見ながら気持ち良く歩く。ハクサンフウロやアサマフウロ、リンドウ等の花が咲き、皆さん楽しそうに会話が弾んでいた。奥霧小屋を過ぎると湿原散策道から離れ、鹿避け防護柵の扉を出て直進する。トイレがある開けた場所を過ぎると小沢を渡り、灌木帯の岩がゴロゴロした歩きにくい道を進む。灌木帯を抜けると登りになり、カヤトの道をジグザグ登って行く。途中から振り返ると八島湿原から霧ヶ峰の展望が素晴らしい。さらに岩がゴロゴロした斜面を登ると物見岩に着き、ここからも広大な八島湿原が見渡せる。小休止してナシやゼリーをいただき、雄大な景色を楽しんだ。ここからは展望が良い稜線を登って行くが、我々の目的地車山方面は雲が多く山頂は見る事が出来ない。



それでも周囲の展望は良く、なだらかな草原の稜線は実に爽快である。やがて蝶々深山の山頂に着き、大勢の登山者が休んでいて我々も休憩する。平坦で広い山頂からは360度の大パノラマが



広がり、休憩にはうってつけの場所である。

ゆっくり休憩を取り、記念写真を撮ったら車山へ向かう。車山湿原に向かって長い下りが続くが、途中で元気な学生のグループとすれ違う。A~Dのグループに分かれて、我々と反対周りで登っているようだ。ザレた急な斜面を下り切ると木道になり、そこからゆるやかに登ると車山乗越に出る。ここからはスキー場の広い道を登り、段々傾斜がきつくなる。スキー場からパノラマリフトで登る人が大勢いて、ここから

は賑やかな登りになる。すぐ上に立派な休憩舎が建ち、トイレもあるので利用させてもらう。

さらに急な斜面を登ると車山山頂の一角に出て、まずは車山神社を参拝し無事登頂のお礼をする。大きなレーダードームの後ろを通り、その先のベンチを確保してランチをいただく。雄大な景色を楽しみながらいただくランチは格別で、カップ麺とお稲荷さんを美味しくいただいた。お腹が満たされたら山頂で記念写真を撮るが、山頂標識前では小学生の団体が撮影中で時間が掛かりそう。奥にあるもう一つの山頂標識に移動し、記念写真を撮ったら下山開始する。下山は車山の肩に向かって、西に広い道を下って行く。車山の肩は平らで広くトイレもあるので、大勢の人で賑わっている。コロボックル



ヒュッテには名物のビーフシチューを求めて大勢並んでいた。トイレを済ませたら出発し、沢渡に向

かって下って行く。登山道からは往路で歩いた草原の山並みが見渡せ、展望を楽しみながら気持ちよく下って行く。下り切った所が沢渡で、文字通り沢を渡って広い道路を登って行く。ヒュッテみさやま入口で休憩し、冷たいゼリーや菓子をいただき疲れた足を休める。ここから左に下ってすぐに右に進み、分岐を左に八島湿原の西側の散策路を進む。平坦な木道歩きに皆さん余裕が出て、お花や景色を楽しみながらのんびり歩く。サラシナショウマの群生やマツムシソウ、タムラソウ等の花々



に癒されながら、無事八島湿原駐車場に戻った。靴を履き替えてトイレを済ませたら帰路につく。

往路を戻り、途中道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄って買い物し、皆さん野菜や果物をゲットした。ここから高速道路に入り、渋滞も無く順調に走り予定より早く岩舟支所に帰着した。